



GCOM
プロジェクト・マネージャ
中川敬三さん

くわしい人 に聞いちゃおう!

GCOMプロジェクト・マネージャの中川敬三さん

GCOM-W1 を使うとなにができるの？地球は今元気なの……？
GCOM-W1 に一番くわしい人、プロジェクト・マネージャの中川敬三さんに、シロクマ君が聞いちゃいました！プロジェクトの立ち上げから関わり、運営のまとめ役を務める中川さんは、「健康診断」に例えるなど、わかりやすく答えてくれたよ。



GCOM-W1を使うと、 何ができるようになるの？



土の中の水分量を測って砂漠化の進み具合を調べたり、シロクマ君が住む北極の氷の面積を調べて、地球温暖化のことがわかったりもするんだよ！それに、海水の温度を調べれば、どこに魚がたくさんいるかも特定できるから、漁業に携わる人たちにも役立つんだ。漁師さんたちは、水温によって住んでいる魚の種類までわかるらしいから、GCOM-W1の観測データを見れば「サンマは今あそこにいそうだ！」って、その場所に直行することもできるよね



GCOMはW1から始まって、 13年も続けてほんとう？



気候変動を調べるには、長期間、観測データをため続けることが重要なんだ。GCOMがするのは、地球の「健康診断」みたいなもの。健康診断は今年だけ、とかではなくて、毎年行って、今の状態を正しく知ることが大事だよ。診断結果が何年分かたまってくると、最近血圧が高くなってきたかな？ということがわかるでしょう。それと似ていると思うよ。



今、地球は元気なの？



元気に活動して、疲れがたまってきたところかな。これ以上同じ生活を続けたら病気になってしまうかもしれない。だから、地球も生活を改善しないといけないんだ。人間だって、どのくらい良くないのか正確に調べないで「ケーキ食べすぎだから一口も食べちゃダメ！」って言われたら、やる気がなくなるよね。今の状態が正確にわかれば「お菓子も半分だけなら大丈夫」って最低限の改善ですむかもしれない。地球も、二酸化炭素を減らしたいからといって、電気を全く使わないとか、車に乗らないなんていうのは無理だから、GCOMを使って地球の今の健康状態を正確に調べようとしているんだよ。



中川さんの目標はなに？



GCOM-W1 が送ってくる情報を、テレビの「BS放送」くらいにみんなが普通に見られることかな。実は僕、BS放送用の衛星も開発していたんだけど、最初は宇宙からの電波でテレビが見られるなんて誰も信用してなかったんだよ。でも20年位ですっかり普通のことになったでしょう。それと同じように、GCOM-W1の海面水温のデータや、北極の氷の面積なんかが、毎日普通に新聞やテレビで見られるといいなと思ってるんだ。それに今はインターネットのおかげで、世界中の人が自分の国の環境を「同時に・すぐに」知ることができるから、新しい利用の仕方を思いつく人が出てくると期待してるんだよ！



北極海に住んでいる
シロクマくん